

2025 年 9 月 4 日  
一般社団法人日本能率協会

生産者のお困りごとを解決する場  
九州地域の農業・農業団体向け関連展示会  
**「第 11 回 九州アグロ・イノベーション／  
九州みどりの食料システム EXPO 2025」を開催**  
2025 年 9 月 17 日（水）～18 日（木）、マリンメッセ福岡で

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2025 年 9 月 17 日（水）～18 日（木）の 2 日間、マリンメッセ福岡 B 館で、農業・農業団体向け関連展示会「**第 11 回 九州アグロ・イノベーション／九州みどりの食料システム EXPO 2025**」を開催します。

九州の農業産出額は全国シェアの 20%を占め、関東東山に次いで 2 番目に多い地域です。九州は全国の食料供給基地であり、生産者との魅力的な出会い、ビジネスチャンスがあります。

第11回  
**九州アグロ・イノベーション**  
**- 九州みどりの食料システム EXPO 2025 -**

毎年、好評いただいている本展示会は、今回で 11 回目を数え、生産者のお困りごとを解決する場として、多くの農業生産者、各農業団体、自治体のご関係者にお越しいただいております。九州地域の発展に寄与すべく、ビジネスチャンスや交流機会の場を提供。

会場は、「農業資材」「畜産・水産資材」「スマート農業・畜産・水産」「暑さ対策」「養殖設備・技術」「鳥獣被害対策・ジビエ利活用」「草刈り・除草」の各カテゴリーで構成。

企画展示「農業イノベーション～収益と環境を両立する最新技術～」や、「スタートアップエリア」、「農林水産省協力によるスマート農業関連情報のパネル展示」、また大好評の講演会では、福岡県鞍手町で大規模稲作経営をされる遠藤農産、20 代の稲作農家・畑作経営・野菜作経営の 3 名が登壇するパネルディスカッションをはじめ、合計で 31 セッションの講演が開催。

出展者数は 172 社／213 ブース、来場予定者数は 4,000 名（2025 年 8 月 27 日時点、同時開催展を含む）を見込んでいます。

※開催概要は 5 ページをご参照ください。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22 / TEL : 03-3434-3453（平日 9:00～17:00）

E-mail : [ai-e@jma.or.jp](mailto:ai-e@jma.or.jp)

【 報道関係の方のお問い合わせ先 】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：植草

E-mail : [jmapr@jma.or.jp](mailto:jmapr@jma.or.jp) / TEL : 03-3434-8620

## 見どころ

### 1. 注目の講演会

講演会 31 セッションが開催されます。※同時開催展を含む

※福岡県鞍手町で大規模で稲作経営をされる遠藤農産の遠藤社長の講演や、20 代の稲作農家・畑作農家などが登壇するパネルディスカッションなど、生産者側からのメッセージが発信されます。

### 2. スタートアップエリア

会場内に九州大学や農研機構、福岡県農林業総合試験場などが出展。九州の会場から全国に向けて最新情報が発信されます。

＜参加企業・団体＞

- ・農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター
- ・九州大学農学部 農業生産システム設計学研究室
- ・福岡県農林業総合試験場
- ・五條吉野柿生産スマート化コンソーシアム
- ・農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
- ・スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）

### 3. 企画展示「農業イノベーション～収益と環境を両立する最新技術～」

＜企画参加企業＞

グリーン／アグリツリー／システム計画研究所／テムザック／DEN 農／  
MOGITATE／minsora／電信／プロダクトソリューションエンジニアリング  
／UECS 研究会

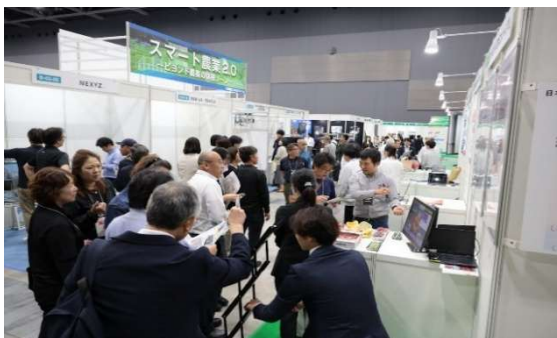
### 4. 農林水産省による「スマート農業関連情報」の最新情報がパネル展示

協力：農林水産省

### 5. 特別企画 まるごと！農・畜・水産マルシェ

厳選された日本の農産、畜産、水産関連企業 21 社が出展！

日本の食文化を、国内外に向けて発信する特別な時間をぜひご体感ください。



昨年の会場の様子

## 注目の出展（一部抜粋）



**出展者名:テムザック**

**ブース番号 A-06-09**

当社では、2023年より自らも稲作を行いながら農業用ロボットの開発を行っています。特に中山間農地など、小規模・変形・アクセス困難な圃場でも利用しやすいロボットを発表してきました。「収量が多少落ちてでも、それを上回る省力化によって、稲作の継続ができるロボット」をコンセプトに、中山間農地の維持に貢献したいと考えています。当社の雷鳥シリーズや愛知県と共同開発中の条間除草ロボットなど、これまでに開発した省力化農業への貢献をめざすロボットを展示します。



**出展者名:福岡県農林業総合試験場**

**ブース番号 A-04-03**

害虫の薬剤抵抗性の発達、環境に与える負荷、有機栽培や減農薬作物のニーズの高まりなどから、化学農薬のみに頼らない新たな害虫防除技術の確立が急務となっています。そこで福岡県農業試験場では、九州大学や農研機構、東北特殊鋼株式会社と協力して、トマトを対象に、振動を用いて主要な害虫として知られるコナジラミ類の密度制御が可能であることを明らかにしていきます。



**出展者名:福博印刷**

**ブース番号 D-04**

当ブースでは、CROW-AIのデモ機を設置しております。実際にAIがカラスを画面上で捉え、発報するデモンストレーションをご覧いただけます。また、たくさんのお問合せをいただいております、カラス以外の鳥獣への対応として、イノシシ・小動物(アナグマ・アライグマ・タヌキなど)対策機器も併せて展示いたします。



**出展者名:イチゴパックロボコンソーシアム**

**ブース番号 A-04-04**

「イチゴパック詰めロボット」イチゴの出荷調製作業は熟練を要すること、15℃以下の低温下での選別作業を長時間強いられる過酷な労働環境や高齢化等により人手不足等が課題になっています。この問題を解決するため、収穫箱内のイチゴの位置と向きをAIにより自動判定し、独自のロボットアームを用いたソフトハンドリング機構でイチゴを傷つけることなく重量別選別して、自動でパック詰め作業を行うロボットを開発しました。ロボットは1時間あたり12kg程度の処理能力を有し1.5～2人の省力化が可能です。本年度より上市予定です。

【特別企画（農産・畜産・水産）まるごと！農・畜・水産マルシェ】



**出展者名:うしの中山**

**ブース番号 A-05-04**

出展製品：黒毛和牛（Japanese WAGYU Beef）

飼育技術と品質の高さ、うま味基準から、2022年、5年に一度の和牛オリンピック（全国和牛能力共進会）にて、日本一を受賞。うま味を追求し続け、独自ブレンドのエサには、魔王・森伊蔵・村尾といった名のしれた本格焼酎と同じ麹菌をまぜ、芳醇でミルキーな味わいの黒毛和牛を仕上げます。品質、味ともに日本一の農家が育てる和牛です。



**出展者名:のぼる**

**ブース番号 A-05-22**

出展製品：冷凍米飯加工品（おにぎり、いなり寿司、おはぎ各種）

食品・食材の鮮度や食感、風味を維持する最新の冷凍技術を使用し、おにぎり、いなり寿司、おはぎ、シャリ玉等をおつくり致しました。是非ご賞味ください。

『必要な時に必要な分だけ』をモットーに、食品ロス削減のお手伝いできるような製品になっております。レンジ解凍でも、25℃前後の室温での自然解凍でもお召し上がりいただけます。

## ■ 同時開催展の見どころ（一部抜粋）

**外食・宿泊・観光業界向けの専門展示会「第7回 Hospitality & Food Week in 九州・沖縄」**（公式サイト：<https://tourismhotel.jma.or.jp/ksh/>）

### **和牛ペアリングエリア**

和牛・日本酒／焼酎・日本茶の3つのカテゴリーをテーマに出展製品を活用しながら、オリジナルのレシピやペアリングの提案を行います。

- ・和牛の生産から流通までこだわり抜いたトップブランドが一堂に集結！
- ・九州のバーテンダーが和牛に合うカクテルを提案
- ・九州の茶農家・茶師による新しい日本茶の飲み方提案

世界的に注目を集める日本茶。お茶処「九州」が誇る茶農家と茶師たちが、その可能性をさらに広げるための提案を行います。海外インバウンド客や輸出に向けた新しい日本茶の飲み方や、現代のライフスタイルに合わせた楽しみ方を実演。伝統を大切にしながらも革新的な視点で、日本茶の新たな魅力を発信します。

高木茶屋  
茶栽培・茶師  
高木 暁史 氏



福岡県茶業青年の会  
会長  
平井 秀和 氏



## 開催概要

- ・会 期：2025年9月17日（水）～18日（木）10：00～16：00
- ・会 場：マリンメッセ福岡 B館（福岡市博多区沖浜町2-1）
- ・展示規模：172社/213小間（昨年125社/163小間）（同時開催展を含む）
- ・来場者数：4,000名（予定・同時開催展を含む）
- ・同時開催展：第7回 Hospitality & Food Week in 九州・沖縄
- ・主 催：一般社団法人日本能率協会
- ・展示企画委員：甲斐 諭 展示企画委員長＜学校法人中村学園 顧問（中村学園大学 前学長、九州大学名誉教授）＞ほか、展示企画委員18名
- ・後 援：日本農業法人協会／九州経済連合会／福岡県農業会議／佐賀県農業会議／大分県農業会議／JA グループ福岡／JA グループ鹿児島／JA グループ宮崎／九州経済産業局／日本貿易振興機構／九州大学大学院農学研究院／福岡県／福岡市／九州農業成長産業化連携協議会／熊本県農業会議  
中小企業基盤整備機構 九州本部／農協観光九州支店 そのほか関連団体へ申請中
- ・入 場 料：1,000円（税込）  
※招待券もしくは来場事前登録証持参者は無料。  
※来場事前登録は、下記の各展示会公式サイト内「事前登録 URL」からご登録ください。
- ・公式サイト：<https://agri-food.jma.or.jp/kyushu/>
- ・事前登録 URL：<https://www.ult-thunder.jp/kyusyu-midori-exhibition-2025/visitor/fill>

## プレス登録（取材のお申し込み）のご案内

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録：「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>  
『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺2枚をご用意の上、  
「プレス受付（会場入り口横 主催者事務局受付）」にお越しください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております（上記の方は、一般登録でご入場いただけます）。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

### ◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。

講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。